

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
生活科教育法	講義	2	片山 雅男
【授業のテーマ及び到達目標】			
<p>児童の探究心を育み、豊かな体験の世界を広げていくための生活科の学習指導法を学ぶ。</p> <p>児童の実態に即した指導計画の作成や学習指導のあり方について学習し、生活科がめざす授業づくりができるようになる。</p>			
【授業の概要】			
<p>「生活科」は小学校低学年の児童が日々の生活を理解し、自立していくことを支援する科目である。このために、生活科が新設された経緯・背景を理解した上で、生活科の目標と指導法について学習する。指導計画や指導案を作成し、模擬授業を行う。講義ならびに適宜アクティブラーニングも行う。</p>			
【全体の授業計画・内容】 講義進行上、講義順・内容の一部が変更されることもある。			
1. 生活科新設の経緯と歴史的背景を把握する			
2. 生活科の特質と目標を理解する			
3. 生活科の内容と構成要素を把握する			
4. 指導計画作成の手順とポイントを学ぶ			
5. 年間指導計画の作成法を学ぶ			
6. 単元計画の作成法を学ぶ			
7. 教材研究と学習指導の進め方			
8. 指導案の形式と内容を学ぶ			
9. 指導案の作成			
10. 教材の作成			
11. 模擬授業(1) グループ①			
12. 模擬授業(2) グループ②			
13. 模擬授業(3) グループ③			
14. 生活科における評価の観点と方法			
15. 学習指導の進め方とまとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方: 小学校学習指導要領解説を前もって読むとともに、指導案や教材を考える。			
学習のあり方: 児童を想定して、授業内容を把握し、指導案作成や模擬授業の実施を行うこと。			
復習のあり方: プリントで内容について再確認するとともに、疑問点の有無を確認し、あれば次回質問する。			
【成績評価】			
指導案(50%)、発表(30%)、受講態度(20%)等により評価する。			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
指導案や模擬授業に対して、授業中にコメントする。			
【テキスト】			
『小学校学習指導要領解説 生活編』大日本図書			
適宜プリントを配布する。			
【参考文献】			
講義の中で紹介する。			